

## 可茂農林事務所の普及活動状況（令和8年4月30日現在）

### 新たな担い手の確保

#### ■可茂地区青年農業士会・可茂地区4Hクラブ連絡協議会 可茂地域農業を支える若い農業者が参集

4月23日、可茂地区青年農業士会と可茂地区4Hクラブ連絡協議会は、通常総会および交流会を開催した。青年農業士5名、4Hクラブ4名が出席し、組織ごとに令和7年度の事業報告と今年度の事業計画について審議を行い、全議案が承認された。

両組織の会員からは、「JA青年部と連携した新たな取り組みをしてみたい」「食育・花育に挑戦したい」等さまざまな意見が出され、賑やかな交流会となった。

今年度は、新たに3名が4Hクラブに加入し、切り花、水稻と品目、営農エリアもさまざまであるが、若い農業者らの交流の場に新しい風を吹き込んでくれることを期待したい。農林事務所は、引き続き両組織の活動支援を行っていく。（地域支援第二係）



【交流会の様子】

### 潜在力をフル活用した生産強化

#### ■みのかも夏秋なす部会 定植前研修会を開催

夏秋なすの定植を目前に控え、みのかも夏秋なす部会は4月21日に、定植前研修会を開催し、10名の部会員が参加した。

当日は、定植前後の管理について学習するとともに、海津市の生産者のほ場を視察し、定植前準備や肥培管理等について意見交換を行った。

農林事務所からは、定植方法や定植前後の水管理や肥培管理、生育初期の整枝・草勢の判断及び調整方法等、この時期の注意点について説明した。生産者からは、自身の栽培に生かそうと、灌水のシステムや草勢維持の注意点等について、積極的に質問、意見交換をする意欲的な姿が見られた。

4月22日から苗が配布され、栽培が開始されるため、引き続き栽培指導を行っていく。

（地域支援第一係）



【室内研修の様子】

### 安心できる農畜水産業と農村の環境整備

#### ■柿 新たな防除体系の実証

近年、高温化に伴って病害虫が多発しており、柿の出荷量や品質の低下が課題となっている中、難防除害虫フジコナカイガラムシを対象に交信攪乱剤「フジコナコン」が農薬登録され、防除効果が期待されている。

4月7日、美濃加茂市山之上地区の富有柿栽培ほ場にて、山之上果実農業協同組合と連携して「フジコナコン」を柿の枝に設置した。実証区では、5月上旬および6月下旬の基幹防除殺虫剤を散布しない計画である。

今後は、農業経営課とも連携し、害虫の発消長や寄生率、被害状況を調査し、コスト面や労力面も含めて慣行防除体系と比較検証を行っていく。



【設置したフジコナコン】

（園芸産地支援係）